



NO.1374

7月17日号

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二一四四八  
F 四三二一四四七



# ご支援、ありがとうございます

## 参議院選挙の結果について

7月10日投票された参議院選挙で、日本共産党にご支持いただいた市民のみなさんに、心から感謝申し上げます。全国的には比例で5議席から3議席に後退し残念な結果となりました。

今回の参院選挙は、平和の危機、「物価高騰」が暮らしと営業に深刻な打撃を及ぼすかつてない情勢のもとで、私たちの「暮らし」と「平和」をどう守るかを大争点とした選挙となりました。北海道の比例代表選挙の結果は、目標とした「35万票、得票率13%以上」に対し、189,624票・得票率8.16%でした。

# 平和を願って

## 「高校生の絵」展開かれる

新日本婦人の会網走支部は、昨年引き続き、7月9日・10日、エコーセンターで『高校生の絵』展を開きました。この絵は、広島県基町高校の生徒が爆撃者から体験を聞き、それをもとに描いたものです。

昨年は40枚、今回は20枚の絵の展示で、枚数は減りましたが一枚一枚の絵や絵につけられた被爆者や生徒のコメントからは、被爆の実相や平和への願いが伝わってきました。昨年より多い170名が訪れました。新日本婦人の会網走支部高久さんは

### 日本共産党網走市委員会

選挙区選挙では、松橋ちはる候補の交通事故による大けがのもとで、急きよ、候補交代した畠山和也候補が、3ヶ月の候補活動で、163,252票・得票率6.98%を獲得しました。網走市の結果は、比例代表で1,330票・得票率8.72%、選挙区選挙では、1,155票・得票率6.98%となりました。ご支持・ご支援いただいたみなさんの期待に応えることができず大変申し訳なく、心からお詫びを申し上げます。この悔しさをバネに来年の市議会議員選挙での勝利に向けて引く続き奮闘・努力いたします。

「他の催しに来ていた子ども達もたくさん見に来ました。子どもに絵の説明をしながら見ている親子、ゆっくり一人で見ている人、友達と来た人、いろいろな年代の人の胸の中に『核兵器なくそう』のメッセージが届くといいなと思います。これからもこのようなくみをしていきたいと思っています。ありがとうございました。」と話していました。



## 参院選挙は残念な結果となりました。今回の戦いの教訓を引き出し、しっかりと活かして勝利に向けて頑張ります。

さて、今回の選挙で改憲勢力が3分の2以上の議席を獲得したことで、岸田首相は、選挙結果を受けて早速、憲法改定の意欲を示し、改憲の急先鋒である維新の会松井代表も改憲を叫んでいます。また、公明党も国民民主党も改憲に前のめりです。私は、中学3年生の授業を受けて、憲法とはそういうものかと感じました。その後、日本共産党に入党して学習する中で、改めて憲法の力を実感し守らなければならぬと固く誓いました。そのことから、現憲法をしっかりと後世に引く継ぐ責任があると考えています。

これから、改憲勢力が色々な形で動いてくると思いますが、多くの方と学習して闘いをしなければならぬと思っています。平和憲法を守りましょう。

## 村ちゃん



比例5議席をめざして闘った参議院選挙が終わりました。赤旗読者の皆さん、支持していただいた皆さん、本当にありがとうございました。

平和をどう守るか、物価高から生活をどう守るかの政策は説得力のあるものだと思いますが、有権者に伝わらなかつたことですので、自分の力不足を強く感じています。これからどうやって巻き返すか、憲法改正議論させないためにも、正念場かと思っています。気持ちだけではだめで、市民の声を聴いて議会で発言すること、後援会員の訪問や署名活動、SNSの発信など行動することが私にできることです。

皆さんに支えていただきながら、1日1日を積み重ねていきたいと思っています。

## 流水

ウクライナの危機に乗じた憲法9条の改悪を許すな。軍事費2倍止めよ。生活や暮らしを守れ！の声が高まる中での参議院選挙の結果はとても残念な結果に終わった。参議院選挙の結果を受け、岸田首相は憲法改悪に強い意欲を示した。12日付道新社説で「改憲よりくらし支援を」と、政策の優先順位を間違っではないけな

い。暮らしの不安を取り除く政策に全力をあげよ、「おごりは禁物」と、クギを刺す。▼選挙中にまさかこんな事が起こるとは、言論を暴力で封殺するという民主主義を破壊する事件は国中を震撼させた。暴力は許さない。テロは許さない！▼夏の花アジサイが咲き始めた。家の庭に色とりどりの薔薇の花が咲く。手入れの行き届いた薔薇はとても美しく誇り高く、ついつい見惚れ、走る足が止まる。▼暑く風の吹かない街を逃れて天都山へ、今日は海から白い風が吹き上がり心地良い。天都山、緑のトンネルはとて静かで涼しく優しい緑の風が汗を取ってくれる。高い梢からやわらかな七色の木漏れ日が降りそそぐ中を走る。至福の時だ。季節外れのカッコウの鳴き声に耳を疑い一人笑う。サクランボの実が赤くかがやいて光っている。アスリート爺